

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第49号 平成19年12月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



鷺山の里山整備活動が始まりました

・鷺山の森を地域の力で元気にしよう！（11月18日、12月2日）

○鷺山の森を地域の力で元気にしよう！

今年度から鷺山小学校PTAが、地域のシンボルである「鷺山の森」の里山整備活動に取り組みはじめました！ この鷺山は古くは斎藤道三の居城があった山でもあります。その地域のシンボルが現在では、薪炭林として利用をしなくなったことにより、藪のようになり、ヒノキ林にモウソウチクが侵入したりと、森の管理が行き届いていません。また、近年、金華山・百ヶ峰でも大きな問題になっているカシノナガキクイムシによるドングリの木の枯死も見られるようになりました。

せっかくの地域のシンボルですが、このままでは人が近寄りづらい状況になり、市民の憩いの場として機能なくなってしまいます。そのため、地域住民が里山整備活動に取りかかりはじめたのです。

森の整備といっても、参加する大人も子どもも、



地域のシンボル 鷺山の森



藪になって見通しがきかない森になっています



カシノナガキクイムシの被害が近年出ています



枯木が放置されています



ヒノキ林に竹が侵入しています



児童による落ち葉集めや樹木の伐採など色々な活動をしなが、鷲山の森を元気にする活動をしています。

その殆どが里山整備活動の経験がありません。そこで、NPOの方々からの技術指導により里山整備活動に取り組みはじめました。

初めのうちは、どの木を切ったらよいのかわからず、切った木の処理方法もわからないので指導者の指示を待って作業していましたが、30分もすると参加者がそれぞれで話し合いながら、伐採する木を決めて作業を進めていました。さすがに日頃から力を合わせてPTA活動に取り組んでいる仲間だと感心してしまいます。今後この整備活動はPTAだけでなく、地域住民にも広げて参加者を募集していくそうです。他の地域に負けない、活気ふれあい活動にしてもらいたいものです。

○おわりに

ある参加者は「子どもたちは、木を切ったり、木で何かを作ったりしていると、時間になってもお腹がすいても家に帰ろうとは言わないものですね」と言われました。

里山とのふれあい活動は、自然についての予備知識も体験もない、初めて森に入った子どもたちさえも夢中にさせる魅力に満ちあふれているのです！！



指導者の一人が伐採したカシの木の間伐で、チェーンソーアートを披露してくれました。鷲山にも一頭の木彫りの熊が山頂付近に棲み着いてしまいました。



里山整備に参加してくれた児童の殆どが、樹木をノコギリで切った経験がありません。最初はどのようにノコギリを使ったらうまく切れるのかわからないようでした。でも、みんなで力を合わせ、大きな樹木を切り倒し、うっそうとした森を明るくすることができました。

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html